

2003 TDA テキスタイルスクール アンケート報告

2003年度TDAテキスタイルスクールの全課程を修了し、今後のTDA活動に活かしたいと、会員や受講生の皆さん方の率直な御意見を反映するアンケートへのご協力をお願いし、そのまとめができました。もっと多くの方からの御意見を期待していたのに反し、少々残念な集計となりましたが、それでも熱心な御意見が集まりました。紙面の関係上、そのまま全部を記載することはできませんが、そのまとめをここに記し、参考にしたいと思います。

□ スクール東京について

東京では、サマースクール、企業ガイダンスを別にアンケートし、後は、03/12月～04/3月後半までのトータルなアンケートをまとめる結果となりました。

●スクール東京を通して「大変参考になった」「まあ参考になった」として人気のあった上位5講座は次のものです。

(日)〔特別講座〕インテリアトレンドセミナー(ハイム・ドム・メゾンドオブジェリポート)／(月)〔加工編〕特殊加工と表現／(火)〔素材編〕天然素材の未来／(水)〔テキスタイルマーケティング〕アパレル・インテリアビジネスの実際／(木)〔素材編〕化合織・複合素材の未来

● 具体的効果について

受講してデザインする際の発想や参考になった	50%
商品の開発やデザイン企画に知識が生かされた	39%
新たな技術や手法がデザイン企画に役立った	23%

● スクール全体についての感想

* よかったと感じた点

五感に訴える内容の濃いスクール／全体がわかって自分の不足している知識に気づいた講師の情熱を感じた／実際に活躍している専門家のセミナーを安く受けることができた。

* よくなかった点 改善点

時間がもっと欲しかった／内容の割に参加者が少ない／初級、中級、上級を分けると、もっと充実する／実戦型マーケティング、MD、流通とデザインの関係講座を増やす。

● 今後希望する講座のテーマ 多かったもの上位

(日)ライフスタイル情報と市場動向

(月)アパレル及びインテリアトレンド情報

(火)デザインとプレゼンテーションテクニック

(水)繊維素材と身体、空間とのかかわり

(木)エコロジー、ユニバーサルデザイン

(健康・安全・快適)機能と感性工学の追究

(金)伝統素材、伝統染色の研究

(土)日本の産地の現状対策と再生動向(成功例など)

(祭)テキスタイルコーディネーター、プロモーションのノウハウ

(祝)産地、企業、フェア等の見学会(海外を含む)

(日)マーケティング、マーチャンダイジング手法

(注)繊維、プリントの製造技術と特殊加工

で、(祭)～(注)は同数点を示し、続いて2点差で着物(和装)の知識と市場の現況、ハイテック繊維、スーパー繊維の最前線、ベンチャービジネス、起業のノウハウ、知的財産権とブランドおこしの実勢、ジャパンオリジナルと商品開発、展示、発表会、シンポジウムへの参加、等が同数点で並んでいる。

●今後のTDA活動やTDAテキスタイルスクールに望むものとして、下記のような意見が記入された。その主なものを列挙する。

* 企業デザイナーのパワーアップのための講座(マーケティング手法、デザインとプレゼンテーション、マーケットデザイントレンド、デザインマネージメント、デザインの評価 etc)

* フリーデザイナー対策(ベンチャービジネス、起業のノウハウ、バーチャルショップのワークショップ、産地メーカーとの交流の場 etc)

* 個人レベルではリサーチできない実際の、現実的な情報の発信。最先端技術を持つ繊維メーカーの話、和の空間や知識 について等々

* 対象を明確に絞り込んだ講座が欲しい

● その他の事項

* 参加人数について

スクール東京では、延べ参加人数647人に対し、会員(240人) + 賛助会員(80人)との割合は約50%であるが、スクール大阪では延べ参加人数243人に対し、会員(170人) + 賛助会員(25人)との割合は約80%である。

* 講座の案内、PRについて

東京ではTDA案内と、会員からの情報が77%を占めているが、ホームページや他のメディアからの案内は極端に少ない。もっと社会に向かってPRメッセージを行う必要があると反省している。

* 受講料は、東京スクールに関しては、手頃が60%、安いものが30%、内容によっては高くてもよいという声もあった。

* 開催日・時間については、現状のままでよいが約60%、ウィークデイの夜がよいが27%強あり、今後一考の要もある。

* 5回以上の受講者は約23%となっているが、実際はもっと多いと思う。